

	<h2>45. 信号章</h2>	★ 考査員認定	
---	------------------	---------	--

考査細目	考査方法	考査のポイント
(1) 手旗信号法を知り、野外の150m以上離れた2点間で正しい交信符号と手順を用いて、数字を含む150字の通信文を1分間35字の速度で発受し10字以上を誤らぬこと。	実演	・通信文は簡易なメッセージとする。
(2) 任意の通信器具を自作し、実演すること。	作品の提出	—
(3) 無線装置(トランシーバーなどの簡易無線、アマチュア無線などを含む)、携帯電話(メール交信も含めて)などの機能を説明し、正しい交信方法を実演できること。	口述または記述の後に実演	—
(4) 次の信号の内、2種以上の信号内容を選択し了解し得ること。 道路標識、交通信号機、鉄道信号、航路標識、霧中信号	実演	—
(5) 防災時における非常サイレンの内容を了解し得ること。	実演	—